

社会福祉経営トップセミナー2023

「日本国憲法の真髓を学びなおす」 ～安保3文書の改定と壊憲に抗して～

2022年12月、岸田政権は臨時閣議で安保三文書を、国民に問うことも国会での審議もなく改訂しました。これは旧安倍政権下で強行採決した安保関連法（戦争法）の具体化に向けた動きに他なりません。さらに、これを受けて、今後5年間で防衛費予算を2倍化するとともに、計43兆円を確保することが決定されました。その財源は明らかにされていませんが、この確保のために今後さらなる社会保障費の削減。公的責任の後退が進められていくことが懸念されます。

この背景には、世界大戦の反省の上に制定された日本国憲法を形骸化させ、「戦争ができる国」への転換をはかる。そのため経済貢献に資さない人たちへ福祉を切り捨て、防衛費予算に回そうとする狙いがあると思われる。

こうした時代だからこそ、改めて日本国憲法の意義を考える必要があります。そこで、本セミナーでは憲法学の権威である樋口陽一氏にインタビュー形式（事前録画）でお話を伺います。

当日は聞き手の石倉氏からインタビューの際の感想報告もありますので、皆さまぜひご参加ください。

【参加費】

- ①全国会議会員 …6,000円
- ②非会員 …8,000円

【申し込み方法】

グーグルフォームよりお願いします。

<https://forms.gle/XVTc6ib5xBr9jYvL8>



【振込先】

振込先：ゆうちょ振替口座 00970-5-212846
口座名義：一般社団法人社会福祉経営全国会議
(通信欄に「経営トップセミナー」と「参加者の氏名」をお書きください。)

2023年5月26日（金）
10時00分～12時00分



オンライン
見逃し配信あり

【話し手】樋口 陽一氏

1934年9月10日生まれ。宮城県仙台市出身。

日本の法学者（憲法学・比較憲法学）。学位は法学博士（東北大学・1964年）。東北大学名誉教授、東京大学名誉教授、日本学士院会員、日仏会館名誉理事長、パリ第2大学（パンテオン・アサス）名誉博士。立憲デモクラシーの会の共同代表も務めた、憲法学の権威。

2011年2月にはレジオン・ド・ヌール勲章を受賞している。著書に『抑止力としての憲法—再び立憲主義について』（岩波書店、2017年）などがある。

【聞き手】石倉 康次氏

1952年3月26日生まれ。奈良県生駒市出身。

元立命館大学教授・総合社会福祉研究所理事長。一般社団法人社会福祉経営全国会議の理事も務める。著書に『まなざしとしての社会福祉』（北大路書房、2021年）などがある。

【開催方法】オンライン（参加会場はございません）



主催：一般社団法人 社会福祉経営全国会議

〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話…06-6772-1360 Fax…06-6772-1376 Eメール…jimukyoku1@f-zenkoku.net